

海を土砂で埋め立てるな！ 11月1日工事再開！

沖縄・辺野古新基地 建設を阻止しよう！

改憲 - 戦争突撃をゆるさない！ 安倍政府を打倒しよう！

三里塚一市東さんの農地強奪阻止決戦に起とう！

全国反戦青年委員会

全日本学生自治会総連合（伍代委員長）

東京都杉並区下高井戸1-34-9 03-3329-0165/0168

<http://www.zengakuren.info/>

安倍政府は、辺野古新基地建設を強行しています。

11月1日、工事が2ヶ月ぶりに再開されました。これは、沖縄「県」知事による埋め立て承認撤回の効力を停止させる決定を、国交相が出した翌日です。沖縄労働者人民の多くの反対の声や行動を踏みしめるやり方です。徹底して弾劾します。

海への土砂投入が狙われています。土砂を運び出すための港である本部町塩川地区の港は、台風の影響で護岸が破壊され使用できなくなっているため、すぐには土砂投入できない状態となっています。しかし、土砂投入のための準備として、海ではフロートやオイルフェンスを張る作業が連日続いています。

辺野古の基地建設予定地は、「マヨネーズ状」と称される超軟弱地盤であり、しかも活断層の存在も指摘されています。

すでに工事によってサンゴやジュゴンの生態を含めて多くの環境破壊が進行し、これからも更なる影響が出ることは確実です。しかし、関係ないとばかり



りに、建設を強行しようとしています。沖縄の海や生態系を破壊する軍事基地建設を許すわけにはいきません。

沖縄労働者人民は、「戦争のための基地はいらない」と辺野古基地反対をかかげ、体を張って闘い続けています。キャンプシュワブゲート前や海上での抗議の闘いに対して、警察や海上保安庁は暴力・威圧を持って襲い掛かり、不当にも逮捕者が続出しています。しかし、これらをはねのけ、不屈に闘うことでこれまで基地建設を止めてきました。

辺野古現地に駆けつけ、ともに闘おう。

改憲・戦争に突撃する安倍政府を打倒しよう!

安倍は、臨時国会の所信表明演説で、改めて改憲への意欲を語りました。この臨時国会中に衆参両院の憲法調査会へ自民党改憲案を「提示・説明」をするとしています。そして、来年の通常国会にも、いよいよ改憲の発議を狙っています。

改憲は、戦争突撃と一体の攻撃です。焦点は、「9条改訂—自衛隊明記」と「緊急事態条項」の創設です。”

戦争放棄や戦力不保持、交戦権の否認”を空文化させ、現実には、自衛隊が朝鮮半島あるいは全世界に出兵し、戦闘をおこない、労働者人民を虐殺することへの大きな踏み込みです。

また、「緊急事態条項」は、独裁的権力への道にほかなりません。いったん緊急事態が宣言されれば、内閣が、法律と同一の効力を有する政令を制定することができます。ファシズム権力への重大な攻撃です。

アフリカのジプチにある自衛隊の拠点を恒久化することを狙い、戦争法の適用（国連の関与しない多国籍軍への自衛隊派兵など）をはじめ具体的に自衛隊の活動範囲をひろげ、次々と戦争国家の道を歩んでいます。

改憲・戦争突撃を阻止しよう。安倍連合政府を打倒し、日帝国家権力を解体しよう。

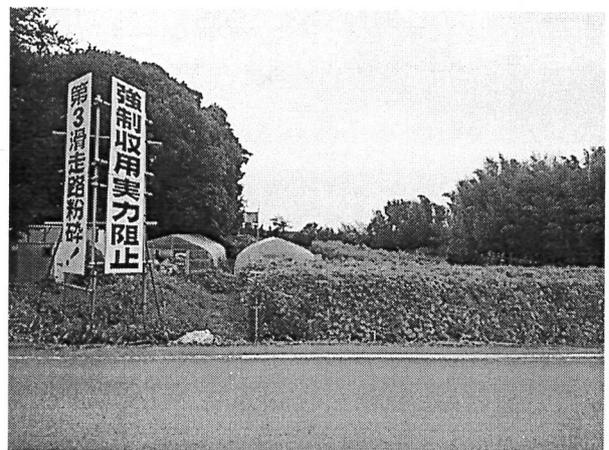
市東さんの農地を守り抜こう! 三里塚に勝って戦争をとめよう!

三里塚闘争（=成田空港建設粉碎闘争）は、重大な決戦局面を迎えました。

政府・国土交通省・成田空港会社は、反対同盟・市東さんが3代100年にわたって耕作している農地を強奪しようとしています。

12月20日には、千葉地裁（民事5部・高瀬裁判長）で判決が出されます。

これを前に、市東さんの農地をめぐるもう一つの裁判である耕作権裁判が11月19日に同じく千葉地裁で開かれます。反対同盟は、デモと人間の鎖による千葉地裁包囲、そして「農地取り上げの強制執行を認めるな」という要望書の提出行動を呼びかけています。是非、要望書への署名、一言メッ



市東さんの農地を守り抜こう

セージをお願いします。

成田空港は朝鮮半島有事の際には50万米軍の兵站・出撃拠点になります。戦争のために、反対同盟農民を叩き出し、三里塚闘争を破壊しようとしているのです。

〈空港絶対反対、徹底非妥協、実力闘争〉で闘う反対同盟と連帯し、現地実力攻防、農地死守決戦を爆発させよう。新たな滑走路建設と騒音の拡大をゆるさない。空港廃港に向け闘おう。

(2018.11. 11)

耕作権裁判 - 千葉地裁デモ&包囲闘争

11月19日（月）

午前9時 千葉市中央公園集合→デモ出発

→人間の鎖で千葉地裁を包囲→要望書提出

→10時30分開廷 601号法廷

要望書への署名、一言メッセージをお願いします